

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日 更新

事務事業名		熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会参画事業					☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり				所属部	政策部	課長名	澤田 勝矢
	施策	4	公共交通の充実				所属課	企画課	担当者名	吉田 健悟
	基本事業	12	公共交通の利便性の向上				所属班	企画広報班	(内線)	1254
予算科目		会計一般	款2	項1	目11	事業連番11587	法令根拠	地域公共交通確保改善事業費補助金交付要綱	成果優先度評価結果	①
									コスト削減優先度評価結果	⑫
終了、開始年度		☐ 26年度で終了 ☐ 26年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 24 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	関係者(国、熊本県、熊本市、合志市、熊本電鉄)で組織する熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会(地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱に基づく協議会)に参画し、熊本電鉄の鉄道軌道安全輸送設備等整備事業計画の事業実施に伴う協議並びに事業負担金(補助金)の支出に関する事務を行なうもの。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会への参画、事業負担金(補助金)の支出事務
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)		27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
熊本電鉄株が実施する、鉄軌道安全輸送設備等整備事業の平成25年度事業計画に基づく事業費について補助を行った。		熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会への参画及び補助金の支出	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ア 事業計画による事業費に対する補助金額	円	熊本電鉄安全輸送設備等整備事業の増による負担金の増	
→イ			
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
熊本電鉄	社	→ア 熊本電鉄	
		→イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
円滑に移動ができる	%	→ア 市民アンケート調査の「電車使って円滑に移動ができている割合」	
		→イ	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
鉄道施設等整備事業費に係る補助を行い、市民が円滑に移動ができることが目的であるため			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費 の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
① 活動指標	ア イ	円	9,155,665	4,131,441	10,136,222	10,130,017	10,365,111	4,508,900	3,733,333	3,733,333	
② 対象指標	ア イ	社	1	1	1	1	1	1	1	1	
③ 成果指標	ア イ	%	76.8	77.6	73.6	74.9	73.8	74	74.2	74.4	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	9,156	4,131	10,137	10,130	1,067	4,509	3,774	3,774
	(A) 事業費計	(A)のうち指定経費	千円	9,156	4,131	10,137	10,130	1,067	4,509	3,774	3,774
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件 費	正規職員従事人数	人	2	3	3	2	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	160	170	170	20	170	170	170	170
		(B)人件費計	千円	651	677	677	79	677	677	677	677
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,807	4,808	10,814	10,209	1,744	5,186	4,451	4,451	

事務事業名	熊本電鉄安全輸送設備等整備協議会参画事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は26年度的事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 現状の鉄道輸送に関するサービス内容が低下しなければ目標達成の見込みあり
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 鉄道輸送に関するサービス内容や利便性が向上すれば成果向上の余地あり。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業なし
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費の自治体支出分に対する関係自治体の負担割合の考え方については熊本市と歩調を合わせているため、本市の負担割合をこれ以上引き下げることはいできない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 協議会構成員であるため、外部委託は不可能。また、事業内容協議および補助金支出業務のみであるため、人件費を削減する余地なし。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 【前年度内容】公共交通に関する事業であり、全市民が利用できるため公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 公共交通の維持・確保について、市と事業者が連携して実施している。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

安全輸送に資することは、市民の安心・安全な移動に繋がるため、今後も関係団体と連携を図りながら事業を実施していく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☒ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策